

# 令和5年度第2回地域連携担当者研修会

1月26日(金)

## 「今年度の協働教育事業について」

事例発表者 鹿折小学校 主幹教諭 川村 模太郎 氏  
志津川中学校 教諭 大内 健 氏  
大谷公民館 主幹兼主任 三浦 通江 氏

## 「対話から地域連携活動につなげる」

ファシリテーター：赤川 泉美 氏（みやぎ子ども教育支援ネットワーク協議会「みずとわ」）  
サポートスタッフ：齋藤 瑞穂 氏（名取市ゆりが丘公民館）



## 【受講者の声】※抜粋

- ・学校と地域、どちらにとっても有益な実践例について紹介してほしい。活動はそれぞれ、学校の特色に合わせて行われていると思う。これからは、限られた時数の中で、いかに効果的にプログラムするかが大事だと思うので、好事例を知りたい。
- ・同じ地区の担当者の先生方と情報交換ができ、よい機会となった。今後の参考にしていきたいと思う。
- ・研修会が複数回あれば、地域の方と考えを深める以外に他の地域の方との情報交換ができる場があると良いと感じた。各地区の公民館が赤川さんのようなアグレッシブな方を中心に推進されていると地域も生き生きしてくる感じた。
- ・地域連携を進めていくためには、公民館と積極的に連絡を取り合う大切だと感じた。来年度は公民館と連携しながら、子供たちの学びが深まる活動ができるようにしていきたいと思った。また、この一年を振り返ることができた研修会となった。
- ・公民館職員の他に、推進員さんや社会教育委員さんとの交流も面白そう。主体的に動かない限り、自分も含め、教員は外部の有識者とつながらなかったと感じた。
- ・公民館と学校との年度途中での情報交換の場になり、大変良い。
- ・人材確保等の課題は懸念事項であるので、関係者・関係団体との連絡は密にしていきたい。
- ・ギャラリーウォークの時間に、他地区の取組みが興味深かった。
- ・抱える課題は共通していると感じた。学校と公民館の連携は必須であり、持続可能な仕組みづくりを構築していきたいと考えている。このような場を繰り返し実施して、意識付けを図ることも大事であると思う。
- ・閉上公民館の取組や対話の方法について大変参考になった。地域連携担当としてコーディネートしていく上で、ただ対話するだけでなく、どのように話し合いを進めていくのかも大切だと思った。